



JaSST'10 Tokyo 第三者検証のオフショア展開

Neusoft Japan 株式会社
2010年1月29日

Copyright 2009 By Neusoft Corporation All rights reserved

Neusoft

Content



1. 企業概要
2. 検証のオフショア展開
3. 人材開発について

Neusoft概況



NEUSOFT概要

Neusoft 东软



- ソフトウェアとサービス
- 医療システム
- IT 教育とトレーニング



売上：US\$5.05億(2008年度)
ITO売上：US\$1.7億
→内日本向け：US\$1.4億

従業員数
約16,000名

大手法人顧客数
8,000社

グローバル拠点

中国(大陸/香港)、日本、
アメリカ、スイス、フィン
ランド、インド、アラ
ブ首長国連邦、イタリア

グローバル開発センター

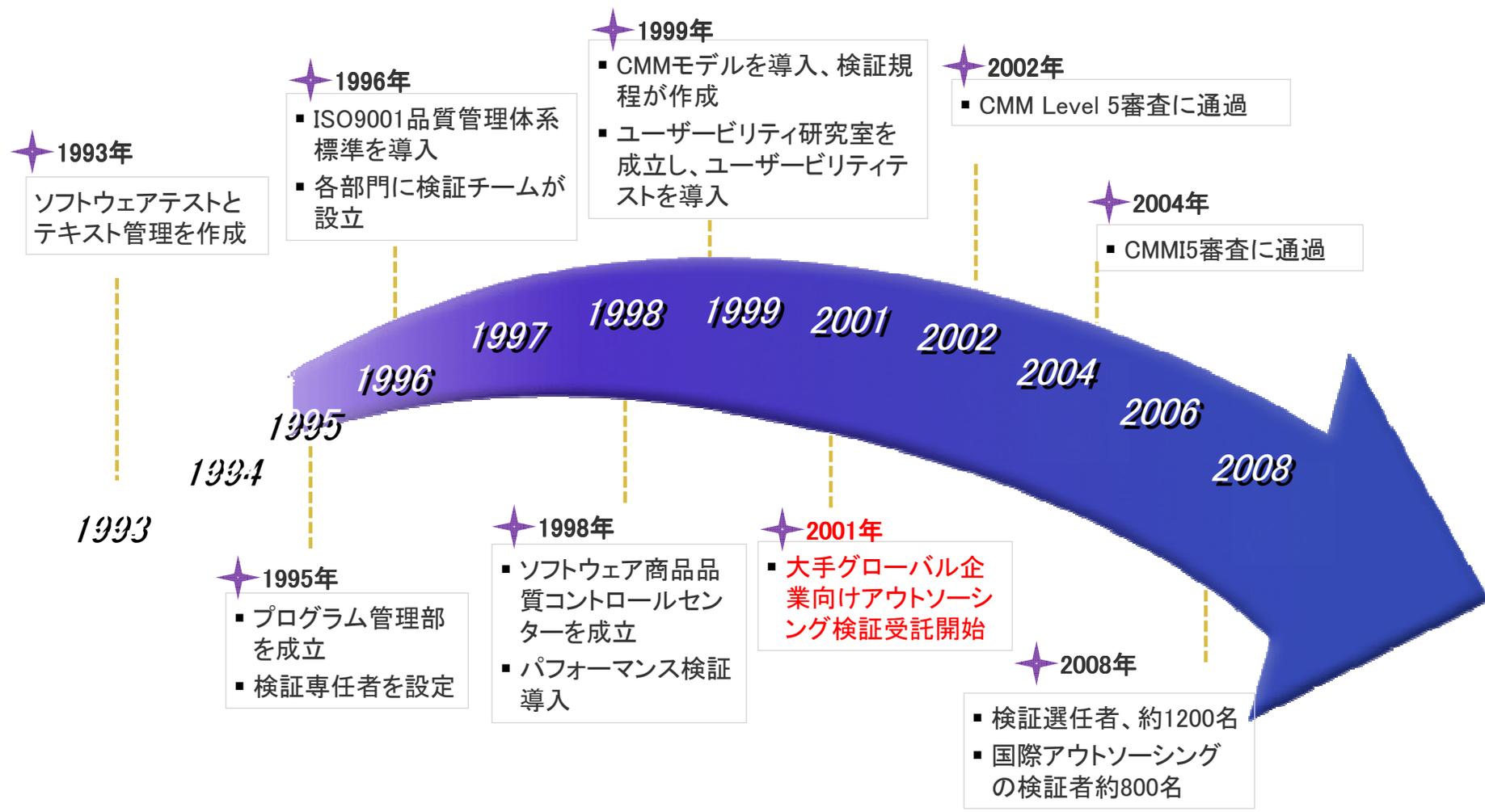
瀋陽、大連、成都、南京

中国での拠点

国内8エリア本部
19 Business Unites
R&D センター：11拠点
自社経営IT学院：3校

- 1991年創立、1996年上海株式市場に国内ソフト会社として初上場
- 1999～2006年の7年間にソフトウェアサービス事業が約10倍に成長

Neusoft検証の歩み



検証のオフショア展開



検証オフショア

テスト対象製品のNeusoft実績

AV機器

- ポータブルオーディオ
- BD/DVDレコーダ
- BD/DVD プレイヤー
- デジタルカメラ

車載機器

- カーナビゲーション
- カーオーディオ
- PND

接続
検証

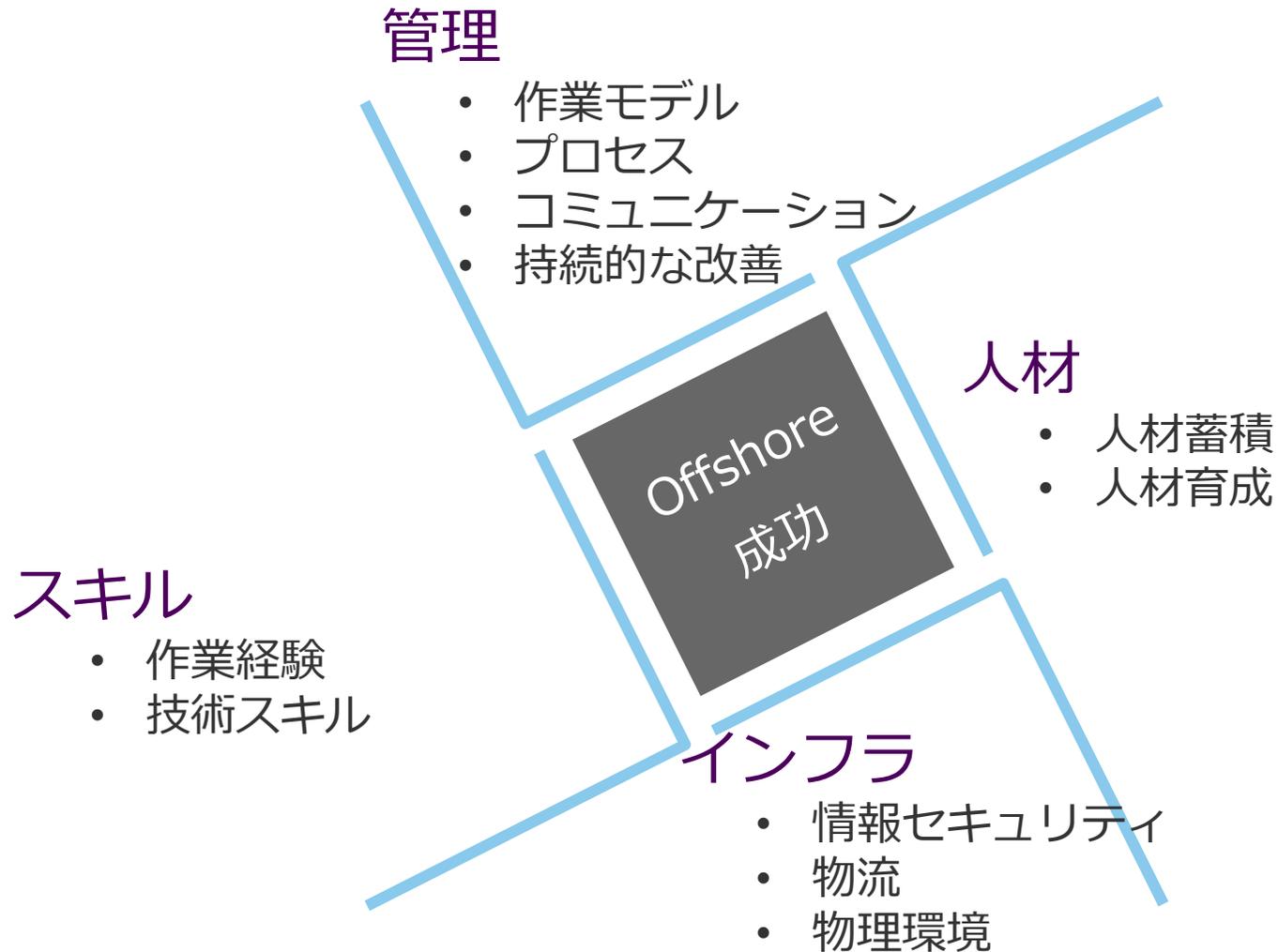
情報機器

- パソコン
- PC Application
- PC周辺機器
- プリンター など

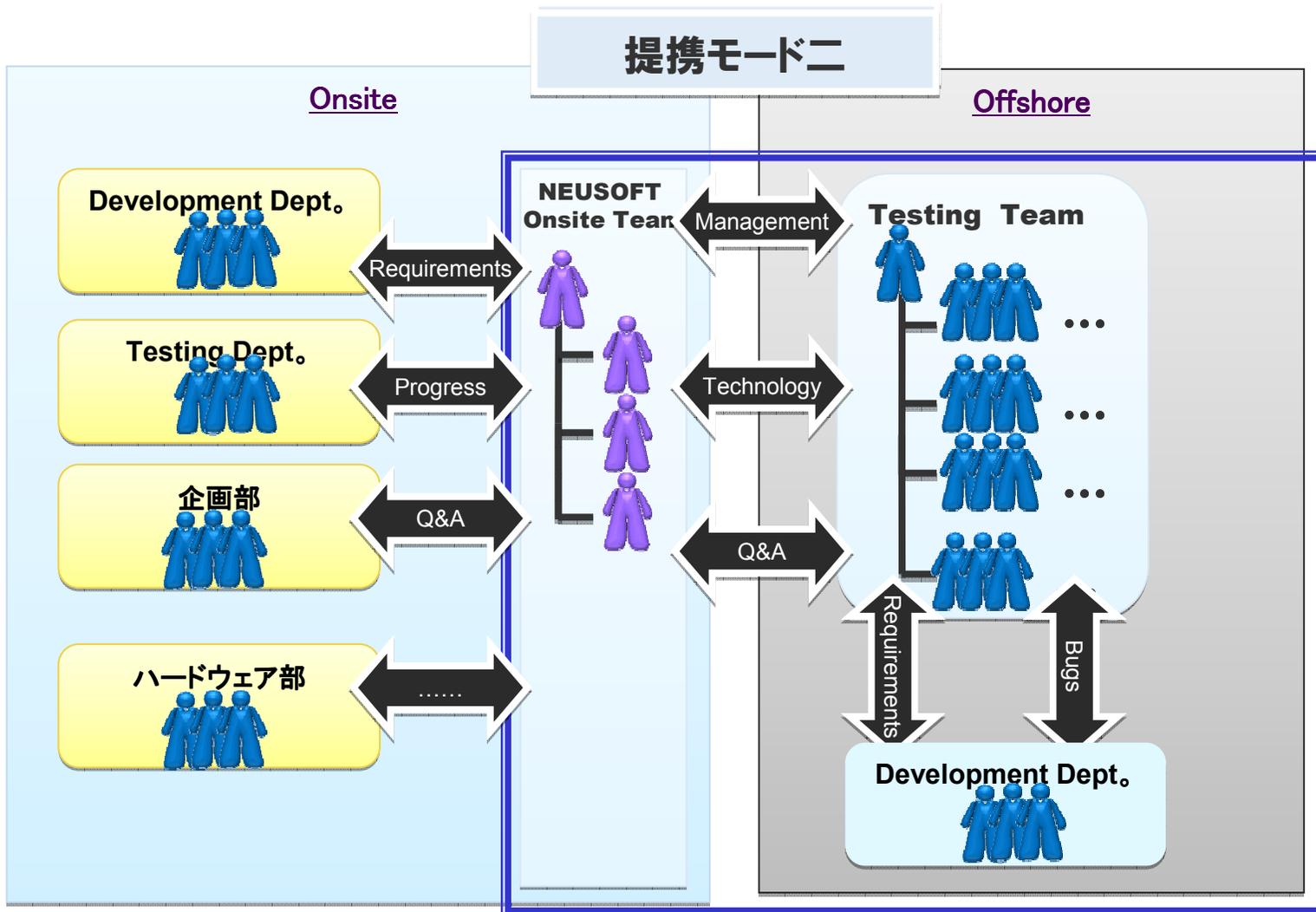
通信・ネットワーク機器

- 携帯電話
- Firewall
- ルータ など

検証オフショア成功ポイント

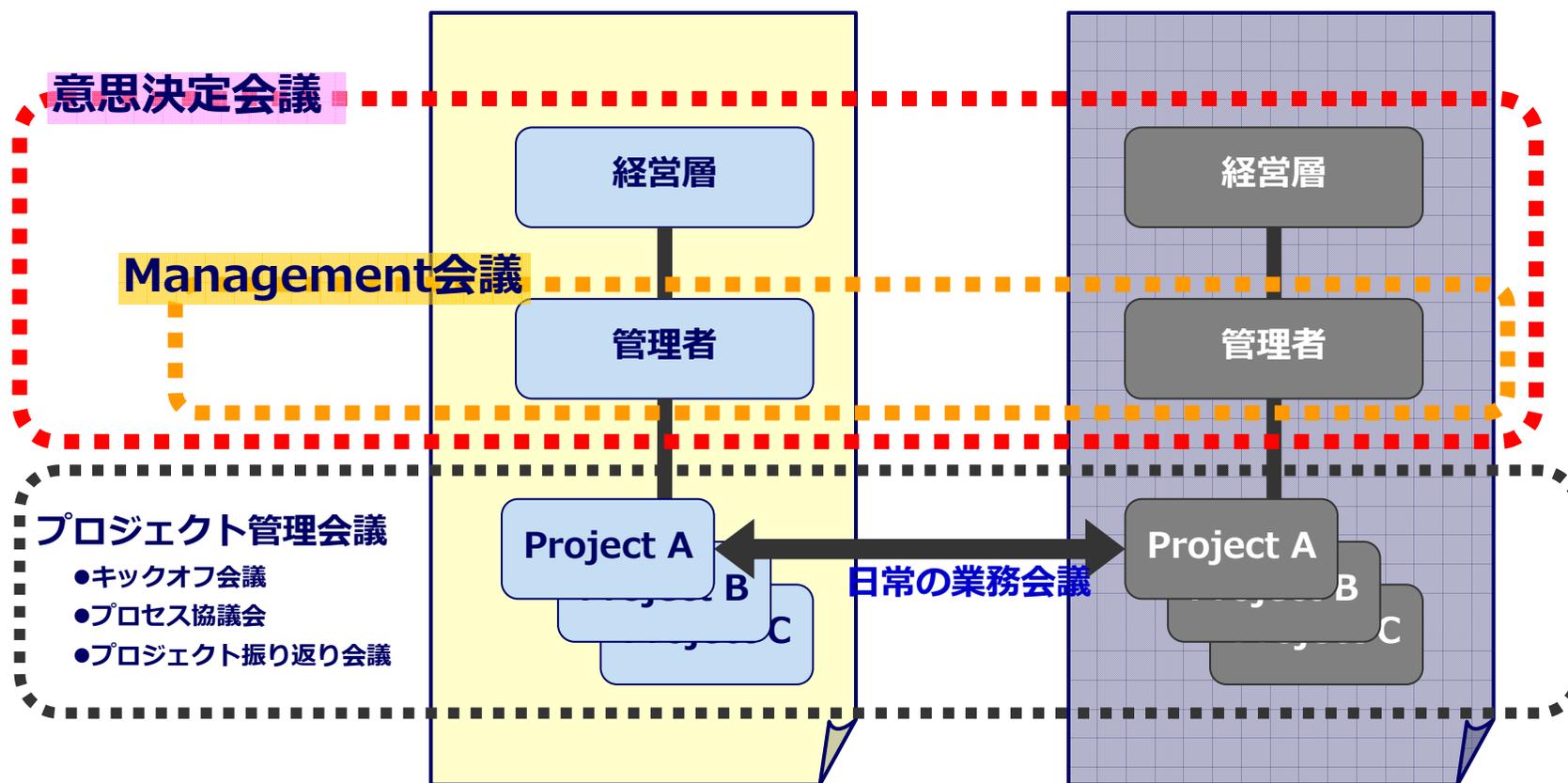


オフショアモデル



組織的なコミュニケーション体制

会社組織レベルでの課題認識と課題解決の確認、将来ビジネスの相互理解と認識の統一。



Neusoft人材育成



NEUSOFT人材供給戦略

人材供給の省力化システムを構築

- 42大学と緊密なパートナー関係
- 3カ所にある東軟情報技術学院
- 10社のIT教育専門機構と提携

潜在力が高い人材

- 10大都市以上での募集活動
- 統一した専門的募集ネットワークを整備
- ヘッドハンティング専門会社パートナー

分布式人材募集ネットワーク

専門的系統的人材育成法

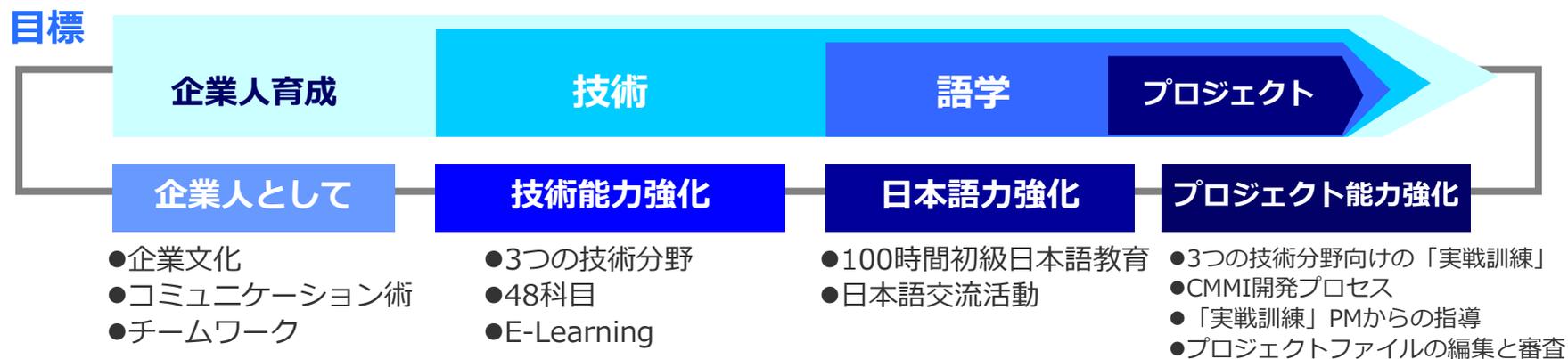
- 系統的な「実戦訓練」人材育成システム
- 7種の大学提携による人材育成プロジェクト
- 8系統の「実戦訓練」人材育成プロジェクト

業務進行中、開発を継続

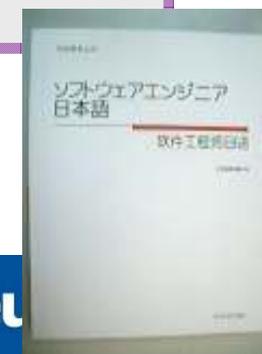
初級エンジニア 各事業部



NEUSOFT初級人材育成システム



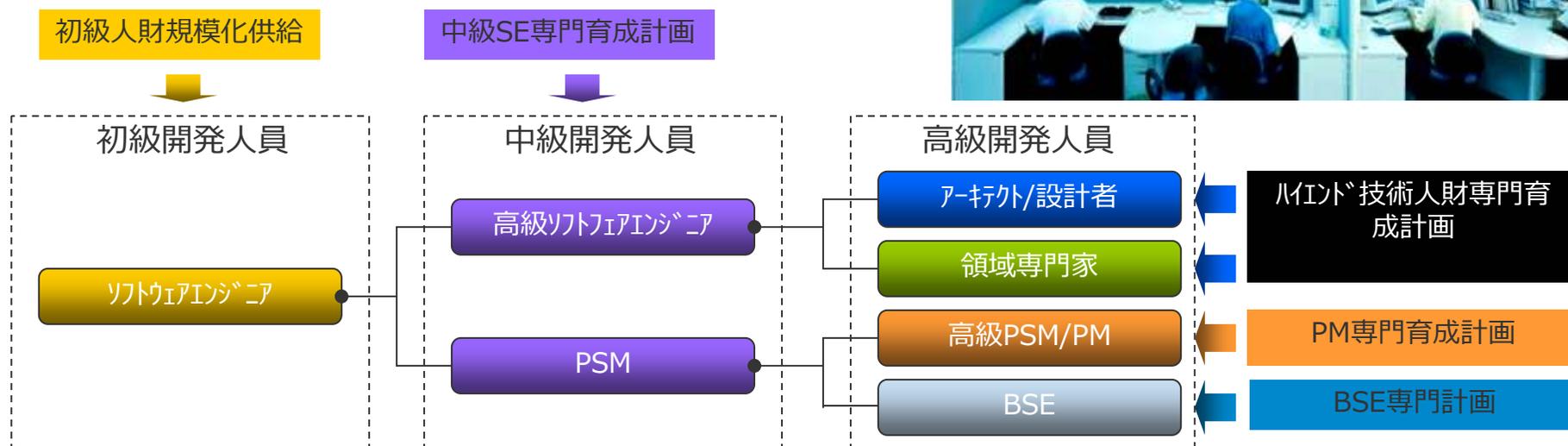
NEUSOFT知識DB	カリキュラム	内部講師	「実践訓練」基地	...
E-Learning	「実践訓練」プロジェクト	「実践訓練」PM	「実践訓練」マニュアル	...



継続的な教育

▶ 様々な専門育成プログラムにより、人材ピラミッドを構築

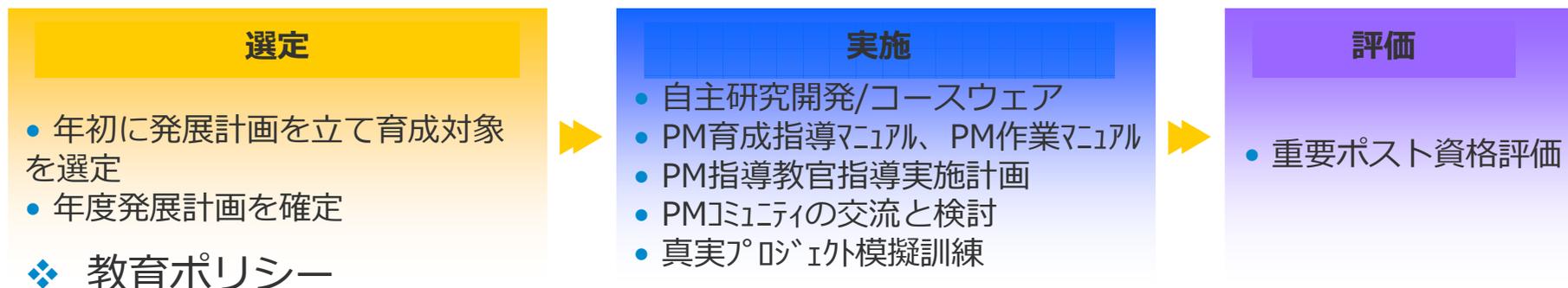
1. 初級人材開発・大規模供給計画
2. 中級SE専門育成計画
3. 高級技術人材専門育成計画
4. BSE専門育成計画
5. PM専門育成計画



PM専門人材育成計画

業務向けの優秀な高級プロジェクト管理人材を育成する

❖ 育成計画



❖ 教育ポリシー

注目点	コース
委託元の視点	顧客サービス技巧、ビジネス英語、日本語教程、管理コミュニケーション、顧客関係管理、業務フレームワーク
有効な計画と状態監視	成功プロジェクト外管理、プロジェクト外管理専門検討と指導、有効生産力
グループ構築と要員管理	成績管理、激励と授権、人的資源管理、技術から管理へ、グループ構築

IT学院との提携育成プロジェクト

① 2Plus2 「超前強化」 (組込系)

- 80時間企業文化、職業意識
- 526時間組込系専攻技術
- 200時間日本語国際3級
- 24時間プロジェクトマネジメント
- 500時間卒業設計のための実習

② 2Plus2 「超前強化」 (Java)

- 80時間企業文化、職業意識
- 410時間Java専攻技術
- 200時間日本語国際3級
- 24時間プロジェクトマネジメント
- 500時間卒業設計のための実習

③ 2.5Plus1.5 「精華強化」 (組込系)

- 40時間企業文化、職業意識
- 413時間組込系専攻技術
- 100時間日本語国際4級
- 500時間卒業設計のための実習

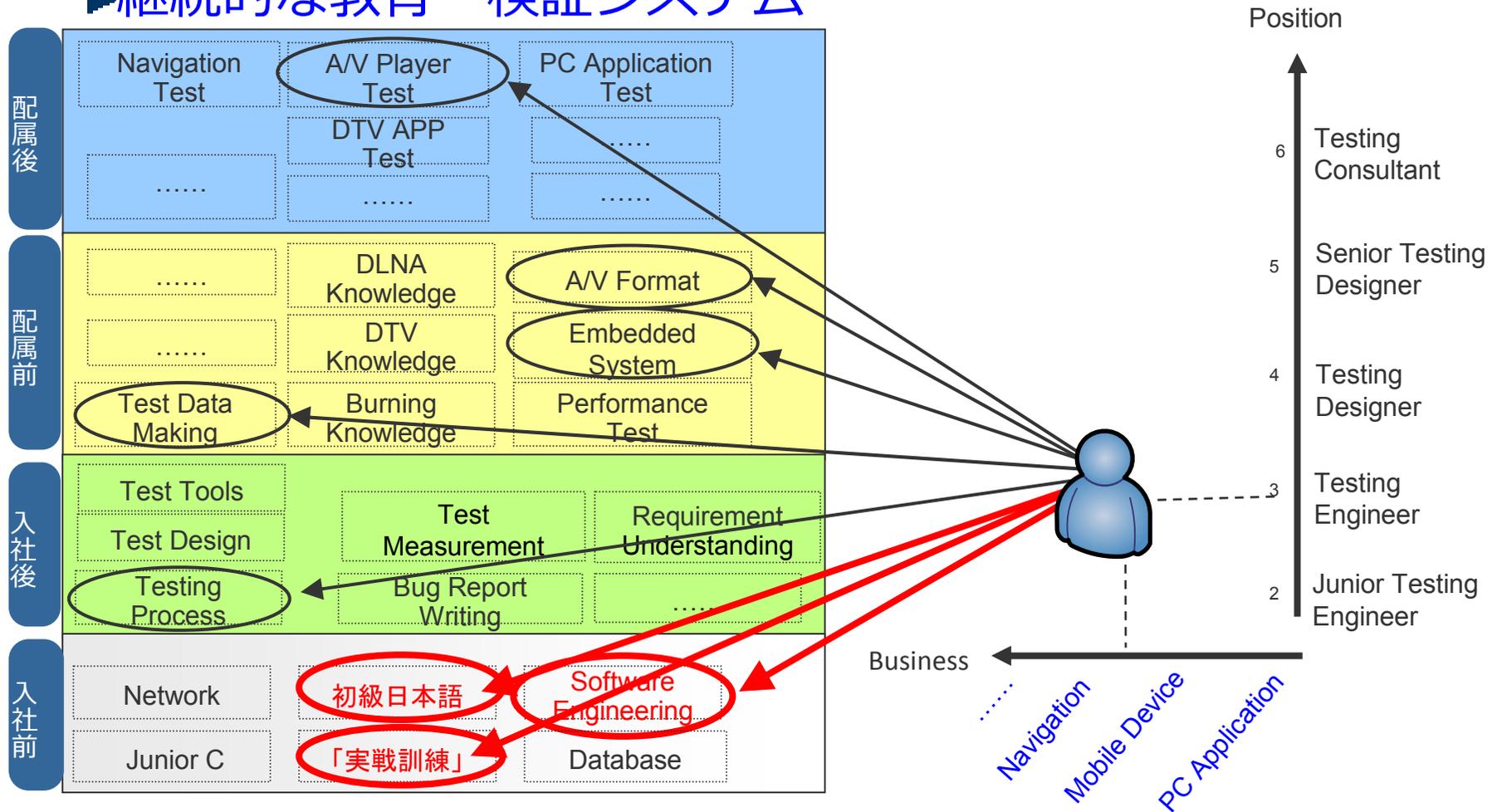
④ 2.5Plus1.5 「精華強化」 (Java)

- 40時間企業文化、職業意識
- 336時間Java専攻技術
- 100時間日本語国際4級
- 500時間卒業設計のための実習



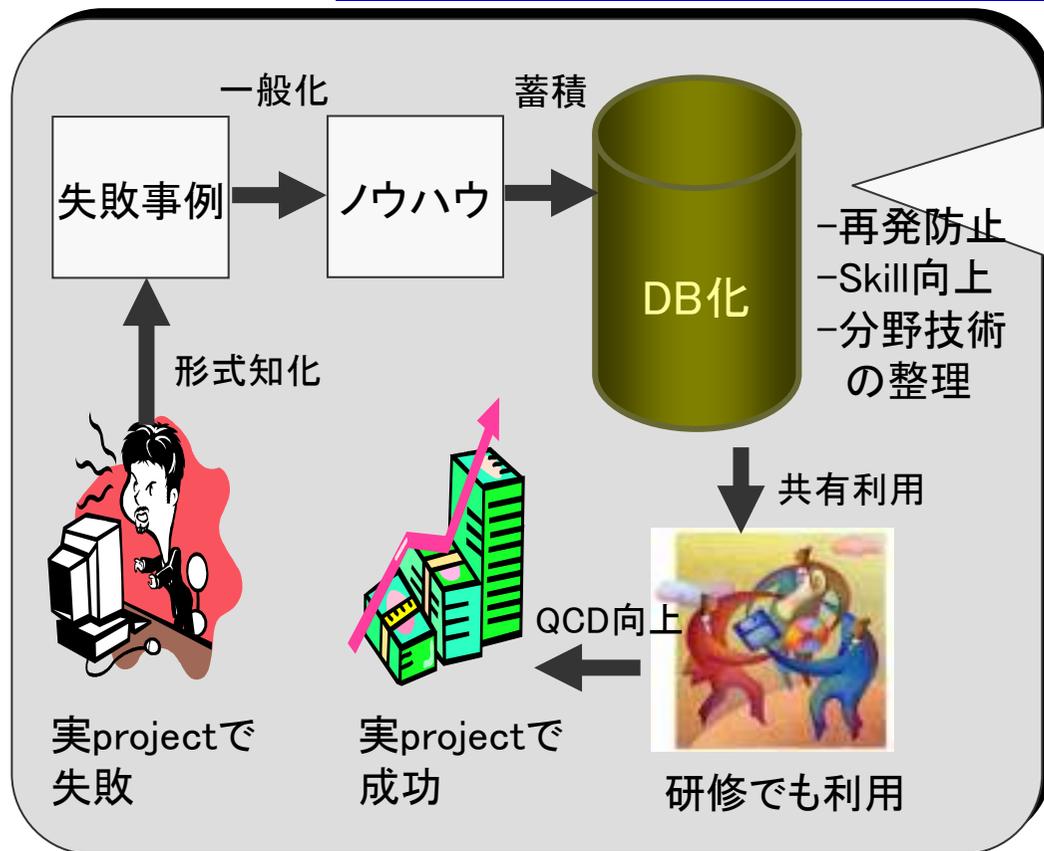
人材供給

▶ 継続的な教育・検証システム



失敗から学ぶ

経験知識継承の仕組み: 検証設計ガイドライン導入



事例	写真保存のフォルダ命名に関するテスト		
発見時期	テスト設計レビュー	種類	連携操作
詳細内容	1. 保存時のフォルダ命名ルール: 101XXX~999XXX。新規フォルダは現在の最大値+1で作成される。例えば、現在105XXXのフォルダがある場合、新規作成されるのは106XXXである。 2. 境界値: 100XXX、999XXX、1000XXX; 3. テスト設計の時、999XXX、1000XXXの境界値を考慮したが、100XXXを考慮しなかった。理由はカメラで下限境界値の100XXXが作成できない。		
問題点	PCから手動で100XXXのフォルダを作成する方法を考慮せず、単純にカメラから考えてしまったので、bug漏出のリスクがあった。		
解決方法	1. ユーザーが手動で100XXXのフォルダを作成できるように設計して、境界値テストを完備させる。 2. PCから手動で100XXXのフォルダを作成できるように設計して、境界値テストを完備させる。		
経験・教訓	テスト設計の場合、本体機能だけではなく、PCや周辺機器などの操作で発生する可能性も考慮必要。		

失敗の解説

失敗の修正方法

失敗是成功之母 → 失敗から学び大きな成功につながる

Thanks

